

# STOP! 課税府の家政婦の文

「承知しました。まずは、身を切ります。」  
国会議員削減!

国民の声。切り捨てられるのは、

国民の声を聞け!

原発いらない!

増税反対!



比例定数削減に反対しましょう!

小選挙区制を廃止しよう! 比例定数削減に反対しよう!

## 比例定数削減反対!

そう思ったあなたの力が必要です。

- 署名にご協力ください。
- 国会議員やマスコミに「比例定数削減反対!」の声を届けてください。
- 学習会へご参加ください。
- わたしたちが作った資料もご覧ください

自由法曹団 | 検索

声をあげる。それがまともな国会・政治をつくる一番の近道です。



### 連絡先 憲法会議

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 神保町マンション202  
電話 03 (3261) 9007 FAX 03 (3261) 5453  
Email mail@kenpoukaigi.gr.jp

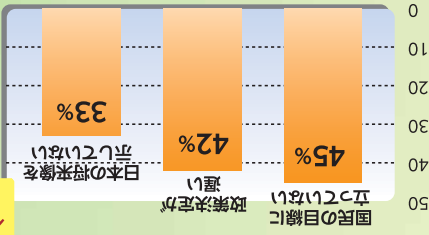
わたしたちは国会議員の比例定数削減に反対します!

憲法改憲阻止各界連絡会議、自由法曹団、新日本婦人の会、全国商工団体連合会、全国労働組合総連合、全日本学生自治会総連合、全日本民主医療機関連合会、東京地方労働組合評議会、日本民主青年同盟、農民運動全国連合会、婦人民主クラブ (50音順)

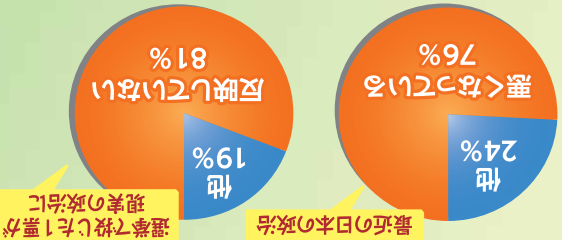
世帯年収	負担増額
250万円未満	11万7565円
250万円~300万円未満	11万1446円
300万円~350万円	13万4046円
350万円~400万円	17万8261円
400万円~450万円	11万2724円
450万円~500万円	12万5889円
500万円~550万円	13万3214円
550万円~600万円	14万 462円

2010年の家計調査をもとに第一生命経済研究所と共に行なった調査。2人の4人世帯の場合

消費税10%でどれだけ負担が増える!!



今この政治の問題点



国民の多くは増税に反対し、国民目標の政治の実現を願っています。増税から生活を守り、国民の多様な意見が反映される政治を実現するには、比例定数削減に反対することが必要です。

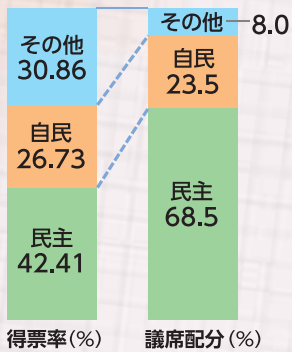
しかし、民主党や野田首相はこうした不安や怒りに耳を貸さず、増税反対の声を逆手にとって、「その前に、議員の比例定数80削減」を強行しようとしています。

「消費税10%に増税! とんでもない!」国民の6割が増税反対

増税は“身を切った”後で... でも捨てられるのはあなたの声とみんなの生活

# これが「身を切る」の正体！ 得票率4割で、なんと7割の議席に！

比例定数が  
80削減されたら  
(同じ得票率でも)



民主党や、野田首相が言う「比例定数80削減」が実施された場合、2009年総選挙の結果で試算すると、民主党は42.4%の得票率で68.5%もの議席を独占することになります。今でも民主党は多くとりすぎているのに、いっそう多様な声や意見が切り捨てられ(死票)、国会・政治に届かなくなってしまいます。これでは国民目線に立った政治は実現されるどころか、ますます遠のいてしまいます。



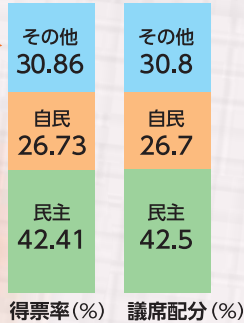
原発No!  
増税No!  
TPPNo!

## 多様な意見を反映する選挙制度に！

国民の声を  
公正に反映！



全てが比例区なら



やっぱりみんなの声や意見がきちんと国会・政治に届いてほしい。いろいろな制度が言われていますが、民意を公平、公正に反映するには比例代表制のような選挙制度に改めるべきです。



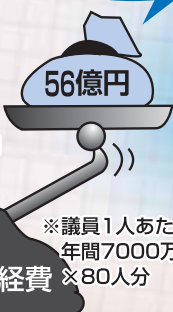
Check!

小選挙区比例連用制：この制度は、300の小選挙区議席はそのまま残るので、結局、問題点は解決されません。

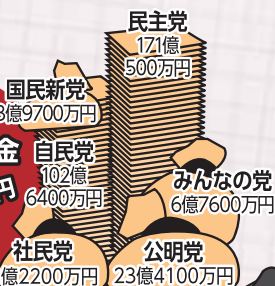
## “身を切る”なら政党助成金こそ廃止を！

国会議員1人あたりの年間経費は秘書の分も含めて約7000万円。比例定数を80削減しても56億円。他方で、政党助成金は年間なんと320億円も配分されています。マスコミや有識者も政党助成金の削減をいい始めました。「身を切る」なら、政党助成金こそ廃止するべきです。

定数80削減分



政党助成金  
年間  
約320億円



(新党日本：1億3600万円  
新党改革：1億2000万円  
たちあがれ日本：8200万円  
※2010年の配分額 (日本共産党は受けとらず)

## “死票”を生む 小選挙区制度こそが問題

民主主義とは一人ひとりの声を大切にし、耳を傾けることから始まります。だから日本国憲法は、国会は選挙を通じて、国民の多様な意思を忠実に反映していなければならないと定めています。しかし、いまの選挙制度は、小選挙区制によって議席に結びつかない「死票」をたくさん生み、多様な意見を切り捨てているのです。

## 小選挙区制導入時の閣僚などからも批判が出ています

- 「(当時推進したが) 現状を見るに、小選挙区に張り付いて選挙運動ばかりしている人、あるいは人気だけのタレントみたいな人が目立ちます。」 (元首相・細川護熙氏)
- 「私は民主党が提案する比例定数80削減には反対です。有権者の投票を議席に反映する仕組みがますます損なわれる。これはよくありません。」 (元内閣官房長官・武村正義氏)
- 「今日の状態を見ると、それが正しかったか…。政党の墮落、政治家の資質の劣化が制度によっておきたのでは。」 (自民党・河野洋平氏)

## ご存じですか? 国会議員は、実は足りないことを



日本の国会議員1人当たりの人口は17.6万人。スウェーデンなどと比べると、1人の国会議員が耳を傾けなければならない人の数がとても多いです。これでは多くの声をきちんと反映させるには限界があります。みんなの声が政治に反映されないのは、実は議員の数が少ないからではないでしょうか。きちんと声をくみ上げるためには、議員削減なんてありえません！